

夜眼遠目笠之内

一
九
三
三
冊
作

寛政九年

13
2946
154



特
13
2956

特
13
2946
154

天眼鏡ハ眼を以て見る者居りあらずを神を以て
 神を以て見る凡目子遮る物心は神を以て
 云々あらず人の両眼ハ日月の光とく六根の
 之を以て此体ハ皆の全体なるが故に視能
 見えざるハ神の眼其道は暗きが故なり亡目
 目と以てども何ごよ明かりは其路を以て
 一と以て小鏡の一を以て序とすそのも

巳
孟版

十偏舎一九歳

